

楷

第六十一号

岡山大学
附属図書館報
OKAYAMA UNIVERSITY
LIBRARY BULLETIN

KAI
No.61
2015
OCTOBER



<写真>

かくひ鳥

鳥ノ形小キ鷹ニ似タリ身細クシテ羽
大ナリ夜ニ乗シテ空中ヲ飛テ蚊ヲ
喰フ故ニ名ツク或ハ呼テ夜鷹ト称ス

「備前国備中国之内領内産物絵図帳」（岡山大学附属図書館所蔵池田家文庫より）

—目 次—

- 図書館で時空を旅する（とある日の中央図書館にて）
（附属図書館副館長 五福明夫）…………… p.2
- 中央図書館本館2階・3階の改修について（学術情報サービス課）…………… p.5
- マスカット…………… p.7
池田家文庫絵図展のお知らせ、岡山大学公開講座「池田家文庫絵図をもって
岡山を歩こう パート2」報告、オープンキャンパス報告 ほか
- 会議・研修・編集委員から…………… p.14

図書館で時空を旅する

(とある日の中央図書館にて)

五福 明夫

タイムマシンを人類は発明できるのであろうか？ 空想科学小説 (SF) では、H.G. ウェルズの「タイム・マシン (The Time Machine)」が有名であり、映画にもタイムマシンは度々登場している。日本のアニメの「ドラえもん」でも、ドラえもんが所有するタイムマシンを、のび太くんが車のような乗り物に乗って時空を移動して騒動を起こしている。最近では、倫理的なルールの下でレポーターが様々な時代に行って人々の様子を観察したりインタビューしたりするといったテレビ番組もある。また、各年代の自分が一同に会して、若い年代の自分が未来の様子を質問すると、すでに経験した年代の自分が意味ありげな表情をするといったコマーシャルもあった。このように、タイムマシンは人々の想像力を掻き立てて様々な架空の状況を作り出して、人間ドラマを作り上げる道具の1つとして用いられている。

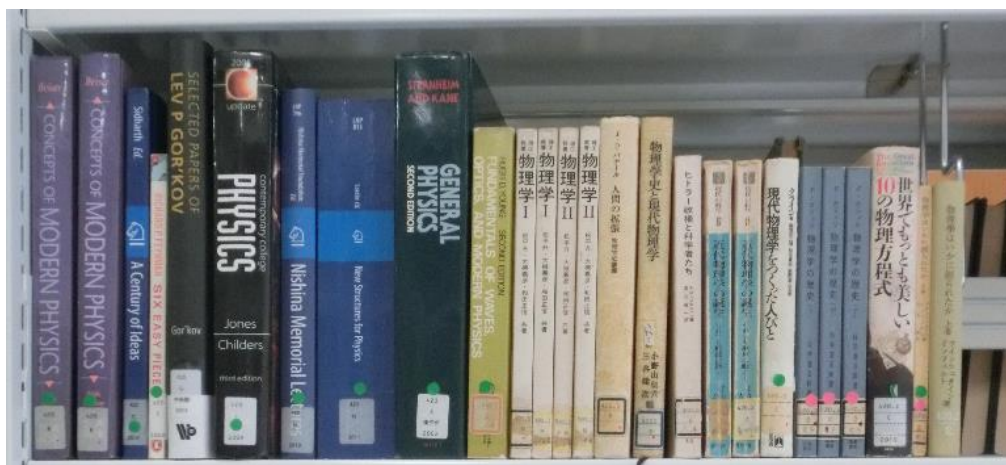
物理的な身体を持つ人間が実際に時空を越えて移動するというタイムマシンは、残念ながらありそうもないように思える。アインシュタインもよく用いた思考実験をしてみよう。多分、過去の印象に残ったイベントを経験している自分を見たいと思うであろう。あるいは嫌な出来事が起こるのを避けるために、何かちょっとした細工をしたいと思うかもしれない。その中には過去の自分に声をかけたり説教をしたりすることもあり得るであろう。しかしながら、そのようなことによって何か自分に都合の良いように事が運んだといった報告は、これまで聞いたことが無い。このことから、未来から過去や現時点まで時間を遡るタイムマシンは発明されていないと結論できそうである。ただし、この思考実験では未来に行ったきりになるタイムマシンや、ある限定された時間だけ遡れるタイムマシンを、将来の人類が発明する可能性は否定できない。他の思考実験として、過去に遡った未来の人間が、先祖にあたる異性と恋に落ちて子供を授かるといった状況を考えると良いかもしれない。この場合、生物学的な遺伝子の継続性の点で、現在の知見ではうまく説明ができなくなるであろう。

では、人間の精神は時空を越えられるのであろうか？ 精神的な活動の成果を伝える方法として、人類はいくつかの手段をこれまでに発達させてきている。1つ目は口述伝承として語り継いでいくことである。語り部によって多くの先人の知恵が伝えられているし、身近なところでは母親や父親からの家庭の躰などもある。2つ目は芸術的な (工芸的な) 作品あるいは工業的な製品として残すことである。作品を鑑賞することを通して、芸術分野によって異なるメディア (モード) を介して、作者が感じた精神的活動を共有しているのではないかと思われる。素晴らしい作品では、その芸術分野が用いることができないメディア (モード) も感じさせられることが多い。例えば、ピアノ演奏により雪の降る情景が目当たりに見えるように感じたり、写真から風や匂いを感じたりといったように。さらに、3つ目として、文字と呼ぶシンボルを配列した書物により、経験や思考の過程や結果を遺すことができる。グーテンベルクが活版印刷技術を発明するまでは、知識は石、竹、紙などに手作業で記録されたり、書き写しや木

版印刷により書籍が作られたりして、保存されていた。このため、先人の知識を共有できる範囲は非常に限られていた。ところが、活版印刷技術により、書籍に記録されたそれまでの知識を、多くの人々が学んで発展させることができるようになり、人類の文明の発達を加速させた。最近ではパソコン、タブレット PC、携帯電話などの ICT (Information and Communication Technology) 技術が発展することにより、電子書籍や Wikipedia などの大規模なデータベースにアクセスし、検索機能を駆使して、ユーザに必要な情報やデータを瞬時に取り出して活用できるようになってきている。また、現代では、磁気および光学の記録媒体に音や映像を記録して再生するオーディオ・ビジュアル機器や、コンピュータグラフィクス技術といった映像の再生・加工技術なども加わることにより、五感に訴える過去の状況の再現や未来や他の場所の様子の体験が容易にできるようになってきている。すなわち限定的ではあるが、人類は時空を旅する手段を得たと言えるであろう。この意味で、書籍やデジタルメディアはタイムマシンであると言える。

.....

私は今、附属図書館（中央図書館）の2階の開架書庫にいる。物理学分野の書棚（写真参照）の前で書名をぼんやりと見ていると、横書きで目立たない書き方であるにもかかわらず「Nishina Memorial Lectures」の文字が目飛び込んできた。『Nishina』とはあの仁科芳雄博士であろうかと思い、その書籍を手にとってみた。表紙をめくると仁科博士の写真が掲載されていたが、私には、表紙というゲートをタイムマシンで潜り抜けると、仁科博士が目の前に立っているように感じた。まるで、川端康成の「雪国」の最初のフレーズの『国境の長いトンネルを抜けると雪国であった。』かのように。また、僅か数センチメートルほどだけ伸ばす手の先を左へ変えると、超伝導の世界へとワープすることができる。L. P. Gor'kov が著した代表的な論文を通して。さらに、棚の右端にはアインシュタインとインフェルトの著書である「物理学はいかに創られたか 上巻」があり、これを通して偉大な物理学者の講義を聴くことができる。このように開架図書では瞬時に（あるいは書架が変わる数十秒で）、我々を様々な時代や場所へと誘ってくれる。ただし、未来については必ずしも真実となるとは限らないが。



写真：開架書庫の書棚の例

一方、閉架図書あるいは文献複写サービスにより、お目当ての書籍や論文を手にするまでは、大袈裟に言えば、恋人を待つワクワク感がある。もっとも手にした時に大いに落胆する場合もあるが、図書館の司書さんは、ある意味ではタイムマシン利用の案内役のようである。無闇矢鱈と図書や文献を探しても、「徒然草」の中の仁和寺にある法師の一節にあるように、お目当てにしていたものとは違った書籍や文献を手にしてしまうことが多いであろう。これに対して司書さんという先達に案内いただくと、適切な図書や文献を探し出して、目的とする時空を越えた旅を満喫できるであろう。

.....

時空を越えた空想の世界をしばしの間漂っていたが、人が動く気配を感じて不意に私は我に返った。ああ、今日中に済まさないといけない仕事が残っている。現実に戻された私は、短時間ではあったが時空を旅できた満足感で足取りも軽く中央図書館を後にした。

付記：図書館では本年10月より12月までの間、学生レポートのライティングサポートの活動を試行している。活動内容はセミナーと個人指導の2つから構成されている。今年度の活動は小さなものであるが、今後の図書館のサービスの1つとして位置づけたいと考えている。書籍というタイムマシンを乗りこなすためには、言語という人類が生み出した素晴らしい意思疎通のツールを使いこなすことが必要である。このツールは時代とともに徐々に変化していく特性を持っているが、少なくとも同時代の人々に的確に自分の思考を伝えるための能力（スキル）を磨いておくことは、他人の思考を的確に受信するためにも重要であろう。学生諸君の積極的な活用を期待している。

(ごふく・あきお 附属図書館副館長)

中央図書館本館 2 階・3 階の改修について

学術情報サービス課

中央図書館では、本館 2 階・3 階の北東部分および時計塔 2 階部分の改修工事を行い、平成 27 年 4 月 1 日にリニューアルオープンいたしました。

この度の改修では、特に本館 2 階の北東部分を「サルトフロresta～飛翔の森～」と命名し、学術交流の場として整備しました。

ここでは、新しく改修した部分を紹介いたします。みなさんそれぞれのお気に入りの場所を見つけていただき、学修の場としてより一層図書館をご活用ください。

本館 2 階 北東部分

『サルトフロresta～飛翔の森～』

こちらは、学生・大学院生が、研究者や実業界の方をはじめ内外の多様な方々と学術を通じた交流をする場となっています。豊かな学術の世界を森にたとえ、心地良い空間での出会いと交流を通じた「知」と「心」の涵養と、世界への巣立ちの場をイメージしてデザインしました。このエリアの木材は岡山県産のヒノキを使っています。サルトフロresta内のそれぞれのエリアには、岡山大学に縁ある 4 種類の木材の名をつけました。

1. クスノキエリア

人の営みと共にある里山の明るい林をイメージしてデザインしました。こちらには、産業界、グローバル社会、課題解決関連の書籍を設置しています。時間をかけて、しっかりとした学問の土台を築いてください。

エリアの名は、初期成長は遅くても、長い年月をかけてやがて巨木へと成長するクスノキからとりました。



2. カイノキエリア

変化に富んだ森の木立をイメージしてデザインしました。思い思いの場所で思索を巡らし、思い思いのスタイルで思索に耽ってください。

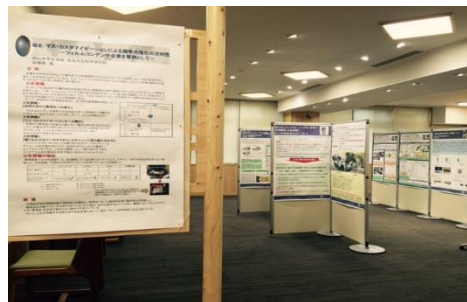
エリアの名は、夏には大きな木陰をつくり、秋には目の覚めるような美しく紅葉する、孔子にも縁の深いカイノキからとりました。



3. イチョウエリア

森の中でふと出会う開けた場所をイメージしてデザインしました。落ち着いた雰囲気の中、多様な人々と共に集い、学術展示や研究発表などを味わい交流してください。

エリアの名は、清々しいまでに高く成長し、秋には輝くような美しい黄葉を見せてくれるイチョウからとりました。



4. ヒノキエリア (14人までのグループ学修室。要予約)

森の中の小屋をイメージしてデザインしました。学術展示を話題に、自由で闊達な語らいの中で、様々な人と出会い交流し、学修を深めてください。

エリアの名は、心安らぐ香りを持ち、我々日本人の間では古くから高級材として親しまれているヒノキからとりました。



本館2階 時計塔部分

ヒヨセルーム

頭と心を切り替えたいとき、一息つきたいときなどに、ふらっと立ち寄ってください。壁面には岡山県が誇る備前焼のタイルを使っています。

部屋の名は、備前焼の原料で、備前市伊部の田圃から採れる土、「ひよせ (干寄)」から取りました。



本館3階 北東部分

サイレントエリア

改修前と同様、静粛な環境の中で集中して学修・研究をしていただくエリアです。資料を西館に移設することにより、座席数を増加させました。



マスカット

池田家文庫絵図展のお知らせ

池田家文庫は、岡山大学附属図書館が所蔵する江戸時代の備前岡山藩の行政資料を中心とした約10万点にもものぼる藩政資料です。平成17年3月には岡山市と岡山大学との間で文化事業協力協定を結び、資料の特徴の一つでもある「絵図」を中心とした展覧会を毎年開催しています。

今回の展覧会では、約3,000点の絵図の中から「京都と岡山藩」をテーマに展示します。京都屋敷、京都留守居を中心に、岡山藩と朝廷、公家の関係を絵図でたどります。

1. 名称：企画展 池田家文庫絵図展「京都と岡山藩」
2. 会期：平成27年10月24日（土）～11月8日（日）（休館日を除く14日間）
[休館日] 10月26日（月）、11月2日（月）
[開館時間] 10:00～18:00（入館は17:30まで）
3. 会場：岡山シティミュージアム 5階 展示室
〒700-0024 岡山市北区駅元町15-1
4. 入場料：無料
5. 主催：岡山大学附属図書館、岡山シティミュージアム
6. 関連行事：

[オープニングトーク]

日時 平成27年10月24日（土）10:00～10:30

会場 岡山シティミュージアム 5階 展示室

講師 岡山大学 特命教授 倉地克直氏

内容 企画展 池田家文庫絵図展「京都と岡山藩」について、この展覧会を監修された倉地克直先生に展覧会場でお話しいたします。

備考 予約不要

[講演会]

日時 平成27年10月31日（土）14:00～16:00

会場 岡山シティミュージアム 4階 講義室

講師 京都大学大学院文学研究科 教授 横田冬彦氏

演題 近世京都の大名屋敷

備考 定員80名（予約不要、当日先着順）

7. 主な展示資料：

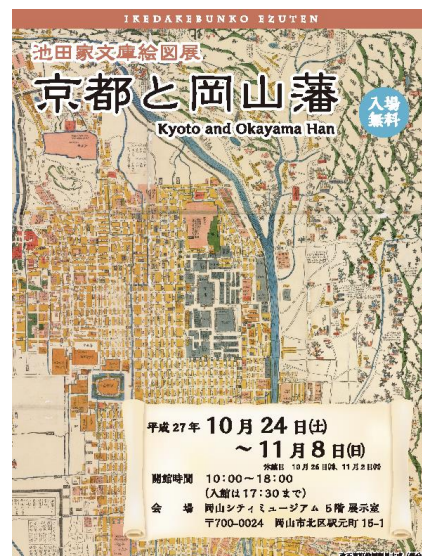
山城国絵図

京都の町絵図

京都屋敷、伏見屋敷の絵図

一条政所関係の絵図

蹴鞠に関する資料



岡山大学公開講座「池田家文庫絵図をもって岡山を歩こう パート2」報告

第1回「池田家文庫城下町絵図をめぐって」(講演会)

開催日：平成27年5月23日(土)

場 所：岡山県立図書館多目的ホール

講 師：岡山大学 特命教授 倉地克直氏

参加者：101名

池田家文庫の城下町絵図をもとに、城下町岡山の成り立ちと変遷について解説していただきました。

第2回「岡山城二の丸の重臣屋敷街跡を歩く」

開催日：平成27年5月30日(土)

場 所：京橋西詰北側～岡山県立図書館前

講 師：岡山市教育委員会文化財課 課長 乗岡実氏

参加者：18名

現在の町並みと各年代の池田家文庫絵図を比較しつつ、かつての堀割、重臣屋敷、石垣や門などについて解説していただきました。

オープンキャンパス報告

中央図書館および鹿田分館では、平成27年8月7日(金)、8日(土)の2日間、オープンキャンパスの企画として、教科書展示「大学の教科書を見てみよう!」と「図書館自由見学会」を実施しました。特に中央図書館では、この4月にリニューアルしたばかりの学术交流スペース「サルトフロresta」もご見学いただきました。

また、中央図書館の本館2階パソコンスペースでは、情報統括センターによる企画、IT体験コーナー「岡大生の作ったゲームやアプリを使ってみよう!!」が行われ、終日、高校生やご家族の方で満員の盛況となりました。

この度は大学のオープニングイベント「岡山大学の魅力紹介」において図書館のリニューアルを紹介いただいたこともあり、2日間にご来館いただいた高校生、保護の方は、中央図書館で4,114名、鹿田分館で364名と、これまでで最多となりました。

岡山大学学生と附属図書館長との懇談会報告(中央図書館)

中央図書館では、平成27年7月8日(水)に、岡プロ!、岡大生協学生委員会C.C.C!、おかやまバトン、図書館ワークスタディスタッフの学生7名の参加を得て、今年度1回目の学生館長懇談会を開催しました。今回は、リニューアル後の新しい図書館をよくご利用いただいている団体の方、図書館で勤務する学生に、実際に利用する上で感じたことやご要望を伺いました。

新しい施設やサービスの認知度向上について有意義なご意見をいただいたほか、従来のサービスについても学生の方の目線で素晴らしいご提案をいただきました。

今後も、少しでも利用しやすい図書館となるよう、学生のみなさまのご意見を運営に役立ててまいります。

知好楽セミナー報告

図書館では、昨年度から、グローバル化時代を生き抜くための「知」と「心」を育む交流をコンセプトとした独自企画「知好楽セミナー」を実施しています。今年度前期は、若手研究者キャリア支援センター、キャリア開発センターとの共催で、学生の方々に働くということについて考えていただく企画として、地元岡山で活躍されている社会人の方をお招きし、2回連続の連携講座を開催しました。

第5回「連携講座 新しい働き方 第1回」

日時：平成27年6月24日（水）16：00～17：30

講師：西栗倉「森の学校」社長 井上達哉氏

参加者：40名

西栗倉村にローカルベンチャー企業「森の学校」を立ち上げることになったきっかけ、コンセプト、商品開発の取り組みなどのお話のあと、図書館をテーマに仕事を創ることについて考えるワークショップがありました。

第6回「連携講座 新しい働き方 第2回」

日時：平成27年7月1日（水）16：00～17：30

講師：「美作市地域おこし協力隊」鶴田秀和氏

参加者：41名

「美作市地域おこし協力隊」に参加したきっかけ、Shop & Caféや民宿などの経営、四季を通じた活動などのお話のあと、地域の困りごとを仕事に変えていく方法を学ぶワークショップがありました。

資源植物科学研究所分館／早島町立図書館特別展示報告

平成27年1月30日（金）～2月18日（水）、ゆるびの舎（早島町民総合会館）を会場に資源植物科学研究所分館／早島町立図書館特別展示「江戸時代の『食』をめぐって—近世の書物と早島の郷土史料から—」を開催しました。

江戸時代の「食」をめぐる諸事情について、江戸時代の料理本など、当時の資料から複製パネル（一部、現物資料を含む）で紹介しました。



早朝開館実施報告（中央図書館）

中央図書館では、前年度まで、試験期間（7月～8月、1月～2月）の平日の開館時間を40分繰り上げ、8時から開館する早朝開館を試行して好評をいただいております。

今年度は、昨年度の「岡山大学学生と附属図書館長との懇談会」での学生の要望を受けて、早朝開館実施日を授業期間（4月～8月、10月～2月）の平日に拡大して実施しました。4月～8月のこの時間帯（8時～8時40分の40分間）の入館者数は、79日間で6,120人でした。試験期間の利用者数は昨年と比べて2倍（916人→1,879人）となり、より多くの方にご利用いただきました。当館では今年度の後期授業期間にも早朝開館を実施する予定です。

中央図書館ミニ展示

中央図書館 1F ラウンジでは、定期的に「ミニ展示」で附属図書館内の資料を紹介しています。館内で見かけた際は、ぜひご覧ください。4月～8月は下記テーマで実施しました。

- 4月「新入生のみなさんへ おすすめ本
「英語多読本” Graded Readers”」
- 5月「レポートの書き方」
- 6月「気象と地震について」
- 7月「七夕&怪談特集」
- 8月 オープンキャンパス企画「本について」
「夏を楽しもう！」



オリエンテーション・データベース講習会実施報告

○中央図書館

中央図書館では平成27年4月～8月にオリエンテーション等を実施し、延べ1,809名の方にご参加いただきました。

オリエンテーション

実施日	対象	参加人数
4月1日～4月2日	新任教員	11
4月3日～8月5日	新入生	1,457
4月8日	放送大学学生	9
5月22日	薬学部2年生	74

ガイダンス

実施日	講習会名	参加人数
4月9日～6月2日	図書館・文献検索ガイダンス (教員の依頼により授業・ゼミ等で実施)	116
5月27日(2回)、6月3日(2回)	文献入手講座	15

データベース講習会

実施日	講習会名	参加人数
6月15日(2回)	Web of Science + EndNote Basic	56
6月17日、19日	Biological Abstracts + MEDLINE	11
6月17日	Inspec	3
6月18日	PsycINFO	6
6月19日	Econlit	4
6月24日(2回)、25日	SciFinder Web 版	42
6月26日	JapanKnowledge	5

○鹿田分館

鹿田分館では平成27年2月～7月にオリエンテーション等を開催し、延べ486名の方にご参加いただきました。

オリエンテーション

実施日	対象	参加人数
3月6日	育成プログラム	13
4月1日～4月14日	新入生	343
4月2日	医学科2年次編入生	5
4月14日	院医歯薬博士	30

データベース講習会

実施日	講習会名	参加人数
2月20日、3月10日	文献検索の基礎	3
4月22日、23日、6月17日	EBM Reviews	17
5月15日	UpToDate	11
5月19日、22日、29日、 6月2日、3日	文献検索の基礎	15
5月25日、6月10日	MENDLEY	21
6月1日	CINAHL	15
6月15日	Web of Science + EndNote Basic	8
7月2日	EBMR	5

○資源植物科学研究所分館

資源植物科学研究所分館では、平成 27 年 4 月～5 月にオリエンテーションを実施し、延べ 135 名の方にご参加いただきました。

オリエンテーション

実施日	対象	参加人数
4 月 9 日	環境生命科学研究科新入生	9
5 月 11 日	農学部新入生	126

教員からの寄贈図書リスト

次の方々から著書をご寄贈いただきました。ありがとうございました。

<中央図書館>

飯田洋介 [教育学研究科]

ビスマルク：ドイツ帝国を築いた政治外交術（中公新書：2304）

——中央公論新社，2015.1 (289.3/B)

梶井一暁 [教育学研究科]

國傳山寶珠院地藏寺所藏文獻目録（上冊・下冊・索引）

——原卓志，2013.3-2015.3 (BF029/K)

金関 猛 [社会文化科学研究科]

ウィーン大学生フロイト：精神分析の始点（中公叢書）

——中央公論新社，2015.3 (146.13/K)

倉地克直 [附属図書館]

「生きること」の歴史学：徳川日本のくらしとところ（日本歴史私の最新講義：14）

——敬文舎，2015.3 (210.5/K)

清家 章 [社会文化科学研究科]

邪馬台国（古代史研究の最前線）——洋泉社，2015.5

(210.273/Y)

新納 泉 [社会文化科学研究科]

鉄器時代と中世前期のアイランド（岡山大学文学部研究叢書：37）

——岡山大学文学部，2015.3 (F233.9/N)

松田陽一 [社会文化科学研究科]

シリーズ現場力から考える 改訂版——松田陽一，2015.4

(F336.3/S)

遊佐 徹 [社会文化科学研究科]

古代・古典・伝統の発見/創造における表象観念と文化

（岡山大学文学部プロジェクト研究報告書：22）——岡山大学文学部，2015.3

(002.04/K)

<鹿田分館>

大浦まり子 [保健学研究科]

住民主体の孤立予防型コミュニティづくり：大学・行政・住民による協働の記録

——ふくろう出版, 2014.4

(498/JU)

岡山大学出版会からの寄贈図書リスト

安藤美華代 [教育学研究科]

児童生徒のいじめ・うつを予防する心理教育"サクセスフル・セルフ" 第2版

——岡山大学出版会, 2015.3

(F371.4/A)

矢納 陽 [自然科学研究科]

モデリング論——岡山大学出版会, 2015.8

(548.31/Y)

(敬称略五十音順)

会議

◆学外

- 27.4.16 第63回中国四国地区大学図書館協議会総会
(於：サンポート高松)
- 27.4.17 第42回国立大学図書館協会中国四国地区協会
総会 (於：サンポート高松)
- 27.5.28 日本医学図書館協会 第86回通常総会・分科
会 (於：日本科学未来館)
- 27.6.4 平成27年度第1回岡山県大学図書館協議会総
会 (於：川崎医科大学附属病院)
- 27.6.12 平成27年度機関リポジトリ推進委員会オー
プンサイエンス班キックオフミーティング
(於：国立情報学研究所)
- 27.6.18 第62回国立大学図書館協会総会
(於：ホテルニューオータニ熊本)
- 27.6.26 岡山県図書館協会企画委員会
(於：岡山県立図書館)
- 27.7.2 平成27年度第1回岡山県大学図書館協議会研修
委員会 (於：川崎医科大学附属図書館)
- 27.9.15 平成27年度第2回岡山県大学図書館協議会研修
委員会 (於：ノートルダム清心女子大学附属図
書館)

◆学内

- 27.3.5 平成26年度第4回附属図書館運営委員会
- 27.6.23 平成27年度第1回附属図書館運営委員会
- 27.7.16 平成27年度第1回附属図書館運営委員会
資源植物科学研究所分館分科会・図書委員会
- 27.7.28 平成27年度第1回附属図書館運営委員会
鹿田分館分科会
- 27.9.15 岡山大学出版会運営委員会

研修

- ・国際広報力向上研修
参加者 飯田 智美 (3.8~13)
- ・部局長等合宿セッション
参加者 沖 陽子、山田 周治 (3.14~15)
- ・平成27年度国立大学法人岡山大学オリエンテーシ
ョン及び岡山大学新任教職員研修
参加者 大元 利彦、羽田 まどか (4.3)
- ・平成27年度国立大学法人岡山大学事務系新任職員研
修
参加者 羽田 まどか (4.14~16)
- ・ハラスメント相談員研修会
参加者 大元 利彦 (6.5)
- ・学術基盤オープンフォーラム2015
参加者 大園 隼彦 (6.11~12)
- ・サンメディア学術ソリューションセミナー
参加者 大園 隼彦 (6.30)
- ・平成27年度大学図書館職員長期研修
参加者 藤原 智孝 (7.6~7.17)
- ・JUSTICE 電子資料契約実務研修
参加者 西村 朋子、中山 千佳子 (7.10)
- ・平成27年度国立大学法人岡山大学主査・主任研修
参加者 山田 智美 (7.16)
- ・平成27年度実践型グローバルビジョン研修
参加者 犬飼 恵美子 (7.23)
参加者 瀧本 ゆかり (7.24)
- ・平成27年度事務職員海外語学研修
参加者 大園 隼彦 (8.30~9.12)
- ・メンタルヘルス クライシスマネジメント研修会
参加者 渡辺 典子 (9.3)
- ・平成27年度目録システム地域講習会 (図書コース・
岡山大会場)
参加者 塩尻 章代 (9.7~9.9)
- ・平成27年度岡山大学新任非常勤職員研修
参加者 大江 和枝 (9.8)
- ・平成27年度図書館等職員著作権実務講習会
参加者 難波 麻紀 (9.9~9.11)
- ・第6回中国・四国・九州地区大学図書館職員フレシ
ュッ・パーソンセミナー
参加者 羽田 まどか (9.10~9.11)
- ・丸善アカデミック・ソリューションセミナー2015
参加者 犬飼 恵美子 (9.24)

編集委員から

中央図書館の語学学修コーナーでは本の並びを変更し、同じ言語の本がまとまるようにしました。簡単な英語を沢山読むことで英語力が付くという Graded Readers も多数ありますので、読書の秋にはぜひ、英語の本にも挑戦してみてください。(M.I.)

岡山大学附属図書館報「楷」 No.61 平成27年10月1日
発行人 山田周治 編集 広報ワーキング
岡山大学附属図書館発行 〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目 1-1
ホームページ URL <http://www.lib.okayama-u.ac.jp/>